

# 板橋区一般廃棄物処理基本計画（第四次）中間のまとめ案 概要

平成 29 年 8 月

## 1 一般廃棄物処理基本計画とは(本編 P1～P2)

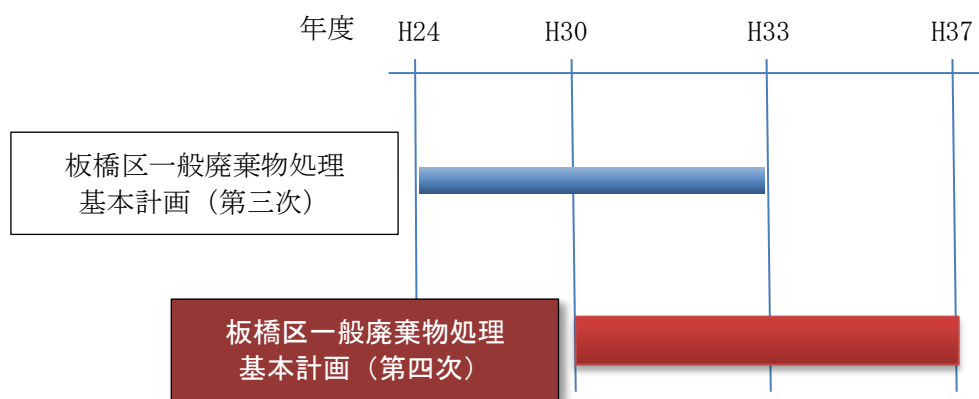
一般廃棄物処理基本計画は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃棄物処理法」という。）第 6 条に基づき策定される、一般廃棄物（ごみ・生活排水）の中長期的な処理の方向性を定める計画です。

前計画である一般廃棄物処理基本計画（第三次）は、平成 24 年度から平成 33 年度の 10 年間を計画期間としていました。

### ■ 計画期間

本計画は、上位計画にあたる板橋区基本計画 2025 及び板橋区環境基本計画 2025 と整合を図り、計画期間を平成 30 年度（2018 年度）から平成 37 年度（2025 年度）の 8 年間とします。

図 1 計画期間

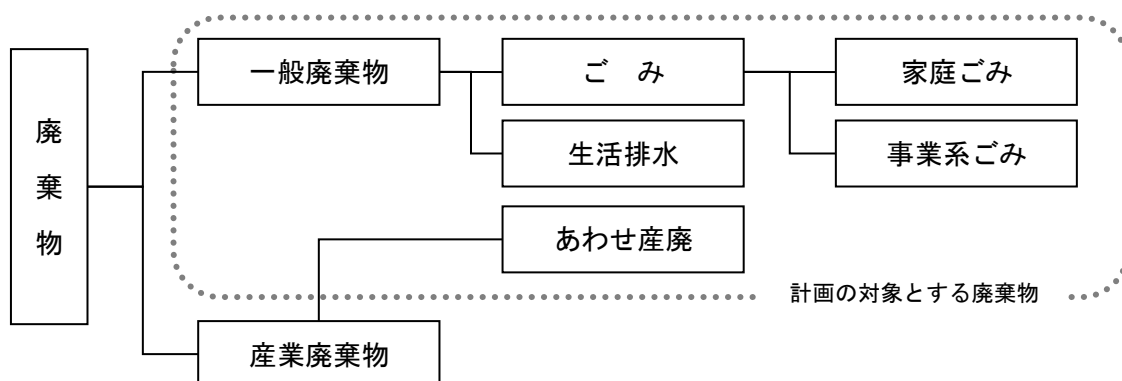


### ■ 対象地域・対象廃棄物

本計画は、板橋区内全域を対象地域とします。

また、対象とする廃棄物は、区内で発生する一般廃棄物（ごみ・生活排水）です。事業活動に伴って排出されるごみ（事業系ごみ）については、一般廃棄物とあわせて処理することが必要と認められる産業廃棄物（あわせ産廃）も対象とします。

図 2 計画の対象とする廃棄物



## 2 前計画の数値目標の達成状況（本編P17～P19、資料編P30）

中間目標年度（平成 27 年度）の目標達成状況を見ると、総排出量の削減率、ごみ減量率、リサイクル率ともに目標に達していません。区民 1 人 1 日あたりの総排出量は目標値（199g/人日削減）に対し 195g/人日削減され、ほぼ達成しています。

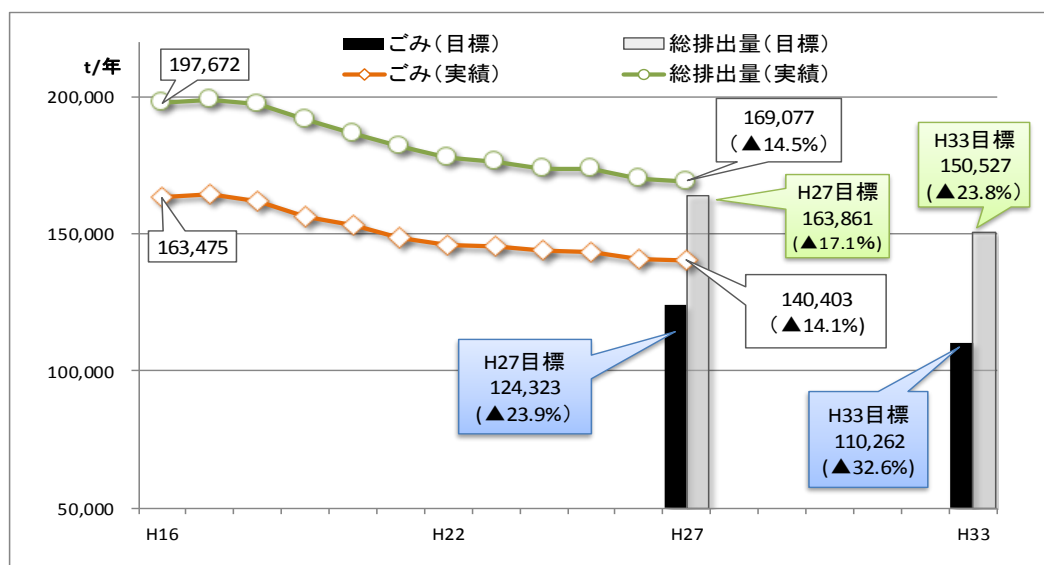
中間目標値が未達成の要因としては、以下が挙げられます。

- 区の人口が第三次計画で想定した予測人口を上回り推移した。1 人あたりの出す資源・ごみ量は減っているため、人口が増えても年間の資源・ごみ量は減少したが、総排出量の減少は鈍ったこと
- 新聞の発行部数減少に伴う古紙回収量の落ち込みなどにより、資源回収量が想定値、23g/人日の増に対して、実績は 37g/人日の減となり、60g/人日少なかったこと

表 数値目標の達成状況（中間目標年度）

項目	中間目標値（27 年度）	実績	
総排出量の削減率 (可燃、不燃、粗大、持込ごみ、資源回収、拠点回収、集団回収等)	平成 16 年度比 17.1%減	平成 16 年度総排出量	197,672 t
		平成 27 年度総排出量	169,077 t
	区民 1 人 1 日あたり 199g/人日削減	平成 16 年度比	14.5%減
		平成 16 年度排出量/人日	1,036 g
ごみの削減率 (可燃、不燃、粗大、持込ごみ)	平成 16 年度比 23.9%減	平成 27 年度排出量/人日	841 g
		削減量	195 g 削減
	区民 1 人 1 日あたり 222g/人日削減	平成 16 年度ごみ量	163,475 t
		平成 27 年度ごみ量	140,403 t
リサイクル率	25%達成	平成 16 年度比	14.1%減
		平成 16 年度ごみ量/人日	857 g
		平成 27 年度ごみ量/人日	698 g
		削減量	159 g 削減
		平成 27 年度	17.7%

図 3 数値目標の達成状況（グラフ）

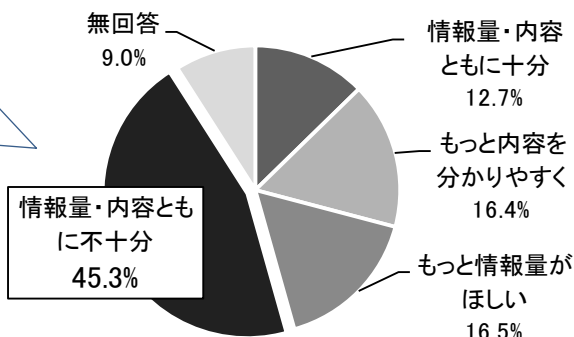


### 3 取組課題（本編 P20～P25）

#### ■ 普及啓発の取組課題（本編 P20）

##### ○「板橋かたつむり運動」のさらなる情報発信、普及啓発

平成 27 年度の区民アンケート調査によると、区によるごみ減量に関する情報提供・PR 活動について、「情報量・内容ともに不十分である」という回答が 45.3%となっています。



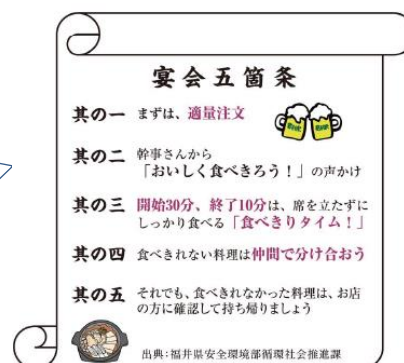
区は、ごみの発生抑制・リサイクルのための「板橋かたつむり運動」を展開しています。



#### ■ 発生抑制の取組課題（本編 P22）

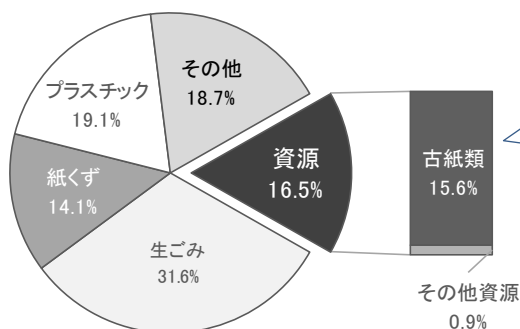
##### ○食べ残しや賞味期限切れといった食品ロスの対策 ○容器包装類の削減に向けた区民への普及啓発など

「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」に参加  
3Rを推進すると共に、食品ロスを削減することを目的として設立された自治体間のネットワークである。「食べきり運動」の普及・啓発、取組や成果の情報共有および情報発信等を行う。その一環として、『いたばし町連』に宴会五箇条を紹介しました。



#### ■ 資源の分別・リサイクルの取組課題（本編 P23）

##### ○古紙、プラスチック類などの分別徹底、資源化推進



平成 27 年度の家庭ごみ組成分析調査では、可燃ごみの中に、古紙類などの資源物が 16.5%含まれていました。

#### ■ ごみの収集運搬・中間処理・最終処分等（本編 P24）

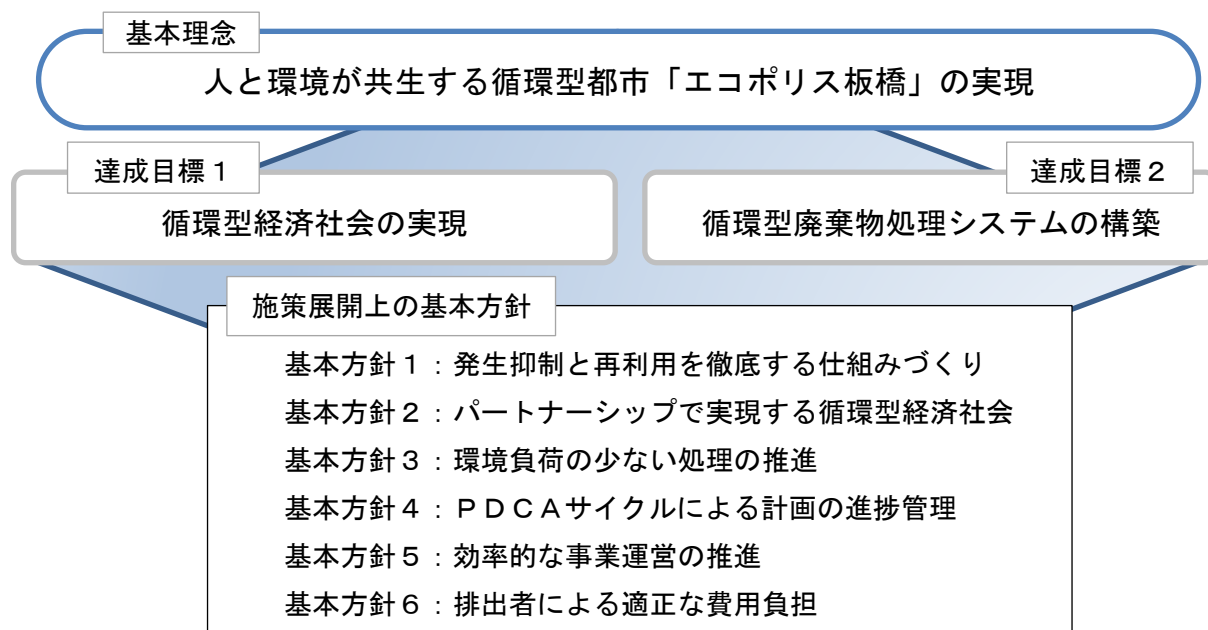
##### ○事業系ごみ排出ルール徹底、減量と適正処理の推進 ○集積所の適正管理や有害物の混入排除 ○国や東京都の災害廃棄物対策を踏まえ、区としての災害廃棄物処理計画の策定

## 4 計画の理念・目標（本編 P26～P27、資料編 P33～P39）

### 1 基本理念・基本方針（本編 P26）

基本理念は、平成 5 年 4 月に『エコポリス板橋』環境都市宣言』を行い、区民・事業者・区のパートナーシップに基づく取組を行ってきた。このような背景から、「エコポリス板橋」の実現を一貫した基本理念としています。

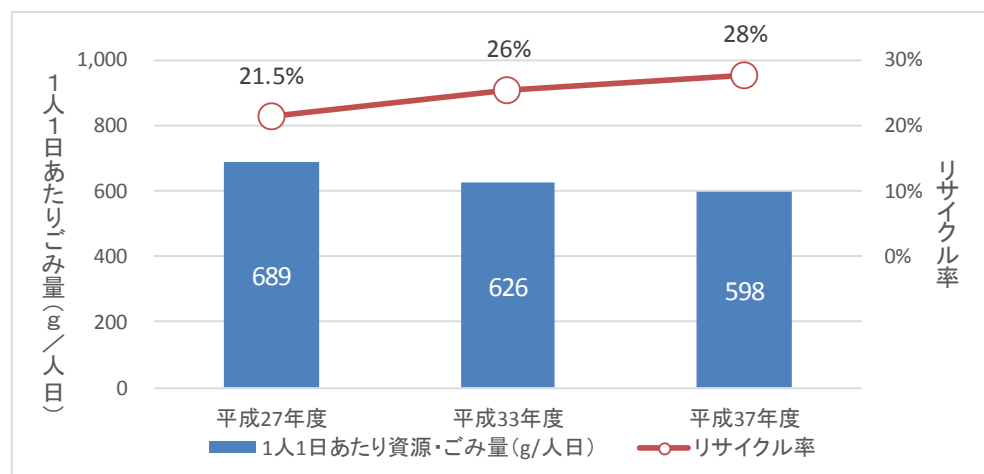
達成目標、基本方針は、廃棄物の発生から処分までの流れに大きな変化はなく、3 R の推進には、各主体の連携・協働が求められており、継続性のある施策が重要であるため、従前の計画を引き継ぐこととします。



### 2 計画目標（本編 P27、資料編 P33～P39）

平成 37 年度の計画目標は以下のとおりです。

指標 1： 区民 1 人 1 日あたりの資源・ごみ量	598g/人日 (平成 27 年度より 13.2%減)
指標 2：リサイクル率	28% (平成 27 年度より 6.5 ポイント増)



## 5 ごみ処理基本計画（本編 P28）

---

### 1 情報発信・普及啓発計画

「板橋かたつむり運動」の推進に向け、様々な媒体・機会を通じた情報発信、普及啓発を図り、区民・事業者・行政の連携による「かたつむりのおやくそく」の取組の実践を目指します。

### 2 発生抑制計画

「板橋かたつむり運動」を軸に、ごみの少ないライフスタイルへの転換に向けた普及啓発を行うとともに、事業者やNPO、区民団体等と連携し、ごみ発生抑制の取組を進めます。

### 3 再利用促進計画

ごみの中で多くを占めるものを中心に、区民・事業者・区の各主体が連携・協働して、減量化・資源化を進めていきます。

### 4 収集運搬計画

資源・ごみの集積所の適正管理、収集運搬体制のさらなる効率化など、区民サービスの向上を図るとともに、水銀等の有害物対策を進めます。

また、事業系ごみについては自己処理原則に基づく排出ルール of 徹底、適正処理の推進を指導していきます。

### 5 廃棄物の適正処理・処分計画

東京二十三区清掃一部事務組合、東京都との連携を図り、安定的なごみの中間処理・最終処分体制を維持します。

## 6 生活排水処理基本計画（本編 P29）

---

### 1 生活排水の処理方針

下水道の使用率 100%（平成 27 年度は 99.98%）をめざします。

### 2 浄化槽の適正管理

浄化槽の機能を維持するため、浄化槽管理者に対する定期的な保守点検、清掃の実施指導を徹底します。浄化槽清掃業者に対しても適切な指導を行っていきます。

### 3 し尿の収集運搬、及び処分

下水道使用率 100%が達成されるまでの間、し尿の収集は区が実施しています。処分は品川清掃作業所の下水道投入施設へ搬入し、東京二十三区清掃一部事務組合による共同処理を行い、残さは焼却、埋立処分します。

### 4 事業者責任の徹底

事業活動に伴って排出されるビルピット汚泥及び仮設便所のし尿については、事業者の自己処理責任の徹底を図ります。